

ファビピラビル Favipiravir

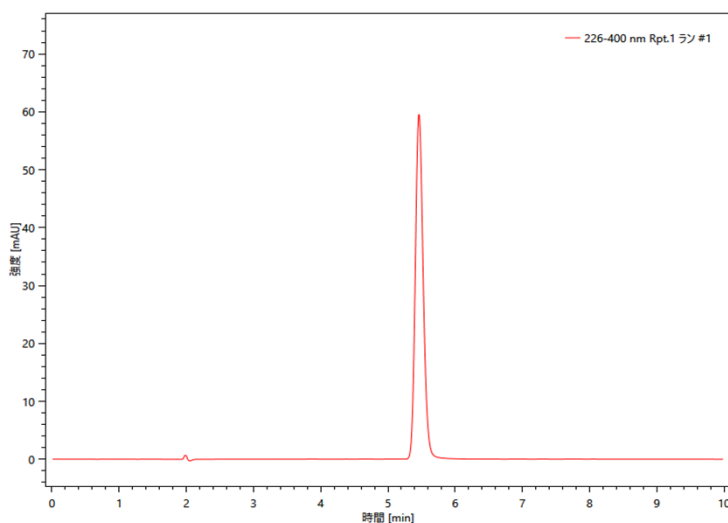
ファビピラビル(アビガン®)は、RNA ウイルスの RNA 依存性 RNA ポリメラーゼを選択的に強く阻害する抗ウイルス薬です。抗インフルエンザウイルス薬として、新型又は再興型インフルエンザウイルス感染症が発生し、既存薬が無効又は効果が不十分な場合で、国が使用すると判断した場合のみ使用することとして、追加の臨床試験を行い、結果を報告する等の承認条件を付された上で、薬事承認されました※。

ファビピラビルは中性の溶離液では保持しません。酸性の溶離液を用いることでC18(ODS)カラムで十分に保持することができました。

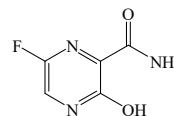
Key words : ファビピラビル アビガン®
Column : USP category: L1

[Analytical conditions]

Column : L-column3 C18 (5 µm, 12 nm); 4.6 mm I.D. × 150 mm L.; Cat. No. 822070
Eluent : CH₃CN/0.1% H₃PO₄ in H₂O (5/95 v/v)
Flow rate : 1 mL/min
Temperature : 40℃
Detection : UV 225 nm
Injection volume : 1 µL
System : Agilent 1260



Sample:
Favipiravir (AVIGAN®)
ファビピラビル (アビガン®)



※ 平成29年3月27日厚生科学審議会感染症部会決定

2021.04 Naka CERI News